

- 事業名 (2) 法に基づく一般相談支援事業
- (3) 法に基づく特定相談支援事業
- (4) 法に基づく障害児相談支援事業

平成28年度 相談スペース ポッシュ事業報告  
((3) 法に基づく特定相談支援事業)

**【計画相談の実施について】**

ポッシュ開設の初年度である平成28年度は、前職場への引き継ぎに費やす時期が長く、ポッシュとしての本格稼働は5月後半からとなった。主な業務としては

- ・前職場で担当していたケースで、ポッシュを希望する方に対する引き継ぎ及び契約
- ・新規ケースの受け入れ

新規ケースについては利用を急ぐケースが多く、十分なアセスメントが出来ないままに福祉サービス提供に係る計画作成に至り、結果的にサービス利用開始後の支援に時間を費やすこととなり計画案の段階で止まっているケースが多い。引き継ぎケースについては、新規ケースの計画を優先することで対応が後回しになり関わりとしても希薄な状況で年度終了となった。

相談支援の業務のほとんどは基本相談でありながら、計画作成でしか収入にならない指定特定事業所としては事業の在り方に検討が必要と感じる一年となった。

	平成28年度目標	平成28年度実績
サービス利用支援	85件	5件
継続サービス利用支援	200件	5件

**【サービス等利用計画相談給付費請求、受領業務について】**

請求事務を法人全体の業務と捉え、担当職員が中心となり事務処理を行ったが、モニタリング月等の管理が甘くなる原因にもなり体制に課題を残す結果となった。

**【利用者からの相談・苦情処理に関する業務について】**

契約時、重要事項説明書に基づき苦情処理に関する担当者や手順も周知を行い、問題が生じた場合には速やかに対応するための策を講じた。

### 【関係機関との連携について】

但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会に関しては一参加者として参加し、豊岡市障害者自立支援協議会に関しては相談グループの代表として会の運営に携わると共に、せいかつ部会重心グループ副代表として地域課題の洗い出し等を行った。積極的な参加から、地域の現状についても強く問題意識を持って参画することが出来た。

	主な参集者	内容	実施回数	参加回数
但馬圏域障害者 相談支援事業担 当者連絡会	・相談支援事業所 ・市町担当者 ・専門機関 等	各相談支援事業所及 び各地域協議会の現 状等を把握し課題解 決に向けての協議、 検討を行う。	10回	10回
豊岡市障害者 自立支援協議会	・相談支援事業所（相談G） ・行政、障害福祉事業所 ヘルパー代表	地域における障害福 祉に関する関係者の 連携及び支援体制関 する協議を行う。	12回	12回

### 【各種研修について】

相談支援専門員としての活動開始から5年間の間に更新研修として受講しなければならない相談支援従事者現任研修が受講対象となったことから3日間の研修に参加。併せて現任研修受講後の相談支援専門員が対象となるリーダー研修にも参加し、スーパービジョンの手法を具体的に学び、相談場面はもちろんのこと、職員間での支援スキルとしても活用できるヒントを得ることが出来た。

法人内では、研修担当として他2名の担当者と共に毎月月末頃に研修日を設定。企画、運営を主体的に行った結果、自分自身を含め更なるスキルアップが必要となる課題も表面化し、次年度に引き継ぐこととしたい。

事業名（2）法に基づく一般相談支援事業及び（4）法に基づく障害児相談支援事業については、（3）法に基づく特定相談支援事業で活動する中で、どのような事業展開を行うのが良いか検討するための情報集めに止まった。